

自然災害リスク軽減研究センター
研究進捗状況に対する意見書

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- 期待以上の達成が見込まれる 達成が見込まれる
 達成が危ぶまれる 達成する見込みはない

(意見等)

② 今後の研究計画・方法の妥当性はどうか.

- 妥当である
 問題がある

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください.

さらなる研究代表者のリーダーシップを期待したい.

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します.

- A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる.
 A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる.
 B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である.
 C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない.

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います.

自然災害リスク軽減研究センター内の研究グループ間の連携をさらに強め、今後、自然災害防災のあり方について、個別の研究テーマの進展だけでなく、学際領域での研究テーマの模索とその対応を考えるとよい.

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- 期待以上の達成が見込まれる 達成が見込まれる
 達成が危ぶまれる 達成する見込みはない

(意見等)

できないことを目標に掲げても意味のないことです。全体として到達可能な研究目標を掲げて研究を進めてきて来られていると思います。今後も同様の進展を期待しています。

② 今後の研究計画・方法の妥当性はどうか.

- 妥当である
 問題がある

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください.

既述の通り、問題はないと考えます。

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します。

- A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる。
 A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる。
 B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。
 C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない。

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います。

堅実な研究目標の設定と着実な研究遂行努力の跡を感じます。

国内外の関連する研究との比較による、当該研究の位置づけ、仮に同分野での先行研究があればそれとの差異と優位性をより明確に説明、主張することができれば更に優れた、説得力のある研究を遂行できるものと思います。

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 期待以上の達成が見込まれる | <input checked="" type="checkbox"/> 達成が見込まれる |
| <input type="checkbox"/> 達成が危ぶまれる | <input type="checkbox"/> 達成する見込みはない |

(意見等)

研究目的に対して着実に研究が進められているので、研究期間内での研究目的の達成が見込まれる。ただし、始めたばかりの研究テーマもあるため一層の努力が望まれる。

② 今後の研究計画・方法の妥当性どうか.

- | |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である |
| <input type="checkbox"/> 問題がある |

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください。

研究計画として、豪雨の発生機構から都市河川の出水機構、流出抑制方策、堤防の破堤現象、土石流の抑制策まで系統的で重要な課題を設定しており、また、研究方法としては、データ解析、現地調査、室内実験、理論解析が組み合わされて、有用な成果が期待でき、妥当性が高いと判断する。

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します。

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる。 |
| <input type="checkbox"/> B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。 |
| <input type="checkbox"/> C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない。 |

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います。

豪雨および水害事象の発生機構とリスク軽減方策に関する研究として、豪雨災害の発生メカニズムとその発生条件を明らかにする基礎的研究から、被害の軽減方策の検討まで系統だった研究テーマが設定されており、水害現象の解明についてはデータ解析、現地調査、室内実験が順調に進行している。現象の解明は被害軽減方策を考えるうえで必須であることから重要であるが、今後は、防災減災に研究成果を活かすために、豪雨の地域特性の把握や、豪雨災害の被害軽減方策とその評価等も視野に入れて研究を進展させることで成果が期待される。

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- 期待以上の達成が見込まれる 達成が見込まれる
 達成が危ぶまれる 達成する見込みはない

(意見等)

これまでの研究により模型実験や力学試験の成果が十分蓄積されてきているので、今後の数値解析の実施や実際の堤防の評価開始などに十分繋がられていく段階にあると考えられる。

② 今後の研究計画・方法の妥当性はどうか.

- 妥当である
 問題がある

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください。

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します。

- A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる。
 A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる。
 B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。
 C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない。

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います。

南海トラフ地震やスーパー伊勢湾台風などの巨大自然災害を控え、濃尾平野などの海拔ゼロメートル地帯を含む沿岸低平地での災害リスクを軽減する上で堤防強化がきわめて重要である。以下に堤防を守れるかで、その後の応急復旧・復興に大きく影響を及ぼす。この点で、掲げられた研究の有用性は疑いがなく、堤防は地盤と河川は相互作用的に影響を及ぼす点で研究体制として地盤工学分野と水工学分野で連携する点は評価でき、期待値が高い。

研究内容については、南海トラフ地震に対する愛知県被害予測において日光川付近で津波遡上前に堤体の破壊・沈下を示すことが予想されているが、本研究によりその予測がさらに高精度化されることが期待でき、その研究成果は高く評価できる。また、地震による堤体損傷後の水位上昇時の破堤は耐震性照査においてきわめて重要な視点であり、現状の耐震性照査で目をつむってしまっている点である。是非、早急な解明を期待したい。さらに、その事象だけではなく、豪雨時の地震による破堤のような複合災害についても、今後の研究を展開していただきたい。

名城大学 自然災害リスク軽減研究センター (NDRR)

研究進捗状況に対する意見書⑤

意見書作成者	所属： 岐阜大学	氏名 高木朗義
--------	----------	---------

※ 該当するものを一つ選び、□に印 (■ 等) を付してください。
※ (意見等) 欄には、出来る限り意見等を記入してくださいようお願い致します。

(a) 研究の進展状況
当初の研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか。
 期待以上に進展している 着実に進展している
 やや遅れている 非常に遅れている
(意見等)
全体としては着実な進展と評価するが、テーマ5の研究内容は期待以上に進展していると評価できる。東日本大震災後長期にわたり被災者に寄り添いながら調査研究を継続されており、研究内容と合わせて、防災研究者としてのバイタリティは高く評価できる。

(b) これまでの研究成果
① 当初の研究目的に照らして、現時点で期待された成果をあげているか。
 期待以上の成果をあげている 期待された成果をあげつつある
 期待された成果をあげているとは 期待された成果をあげる見込みがない
いい難い
(意見等)
全治としては期待された成果をあげつつある中で、テーマ5は期待以上の成果をあげている。特に、研究成果として提案されている「通訳型リーダー」は、大変良いアイデアであり、将来起こり得る大規模災害復興支援において有効であると思われる。

② 研究内容・研究成果の積極的な公表、普及に努めているか。
 努めている
 不十分である
(意見等)
近く書籍の出版を予定しているとのことで、研究成果の社会への還元についても、極めて努力している。

(c) 研究目的の達成見込み

① 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか.

- 期待以上の達成が見込まれる 達成が見込まれる
 達成が危ぶまれる 達成する見込みはない

(意見等)

② 今後の研究計画・方法の妥当性どうか.

- 妥当である
 問題がある

(問題点) ※問題点があると判断した場合、必ずご記入ください.

[総合意見]

本研究課題の当初の目標に照らし、総合的なご意見をお願い致します.

- A+ : 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる.
 A : 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる.
 B : 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である.
 C : 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれない.

(意見等) ※各事項、今後の課題及びその他の点も含め、総合的なご意見を記入願います.

テーマ5はすでに期待以上の成果を挙げており、今後も期待されるが、研究担当が1名であることが気掛かりである。テーマ5の周辺分野である都市計画系の研究者は名城大学に多数在籍しているものの、本プロジェクトに参画していないのはもったいない。防災・減災研究は、総合的な研究が必要であるので、もっと多くの学内の研究者が参画されることを期待したい。